



# と し ょ か ん 図 書 館 だ よ り



くにもとにししょう  
国本西小  
れい わ ねん ど がっごう  
令和7年度10月号

## かつどくしよげっかん 11月読書月間のお知らせ

### ★11/4(火)～12/4(木) しおりコンテスト

→おすすめ本のしおりを描いておうぼしよう！

### ★11/4(火)～12/4(木) 分類ビンゴ

→分類の本を借りて、ビンゴを自指そう！



### ★11/4(火)～11/28(金) 家族読書

→家族・きょうだいで本を読んで、用紙に記録します。

### ★11/4(火) お話 給食(ランチルーム)

→物語に出てくる食事が給食に出ます。

### ★11/17(月) 7学年の先生の読み聞かせ(各教室)

→担任をもたない先生が読み聞かせをしてくれます。

### ★11/25(火) よむよむさんによる

#### 読み聞かせスペシャル(体育館)

→よむよむさんが特別な読み聞かせをしてくれます。

### ★11/27(木) 担任シャッフル読み聞かせ(各教室)

→別のクラスの先生が読み聞かせをしてくれます。

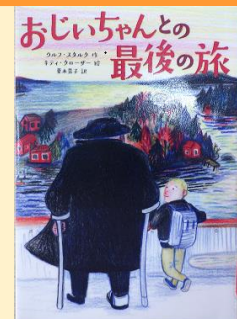
### ★12/22(月) 図書委員による読み聞かせ

→今年は12月に、2・4・6年生教室で行います。



おすすめ

## 「おじいちゃんとの最後の旅」(949ス) (ウルフ・スタルク作/徳間書店出版)



入院しているおじいちゃんは、とても口が悪く、看護師さんや主人公のお父さんにさえ、少しけむたがられている存在。でも主人公のウルフは、そんなおじいちゃんが大好きです。

おじいちゃんの「死ぬ前に、亡くなったおばあちゃんと暮らしていた家にもどりたい」という願いをかなえるために、ウルフは病院を抜け出す計画を立てます。はたして彼らの計画は、無事に行われるのでしょうか。

おとなしそうな性格とは裏腹に、おじいちゃんと根っこが似ているウルフ。そんな彼だからこそ、おじいちゃんも心を許していたのではないかと思える描写が、数多くあります。

お父さんがクロスワード好きなこと、おじいちゃんがカラスをワシと見間違えたことなど、あなたが『ん?』と思ったことが、後にすてきな展開になるので、その疑問を大切にしながら読み進めてください(よゆうがある人は、訳者あとがきまで読むと、さらに楽しめます)。

↑作者:

ウルフ・スタルクについて

スウェーデンの児童文学界を代表する作家。現代社会を映し出すテーマを多く扱っていました。

「おじいちゃんとの最後の旅」に登場するおじいちゃんは、作者の実のおじいちゃんがモデルです。この作品がスタルクの遺作となります。

★必読図書 完読者★

3年生 1名/4年生 1名

※今年度から、図書の表彰は2月に

行われます。なので、

4月～1月の間に200冊読んだ人が

200冊賞をもらえます。

あと約3か月、たくさん読みましょう!